

「つながりのまち摂津」の実現へ、**改革**を推進します！

# 自民党・市民の会

じみんとう

しみんのかい

2024年1月  
議会報告

vol.8

発行元 自民党・市民の会  
摂津市三島1-1-1 摂津市役所内3F控室



本議会報告は昨年の2023年第3回定例会(2023年9月)及び2023年第4回定例会(2023年12月)の内容について記載しています。



松本暁彦

光好博幸

嶋野浩一郎

議会の役員改選が9月末に行われました

## 1 物価高騰対策割引券交付金(第4回定例会で可決)



摂津市セッピー割引券の追加の決定。約2億1千万円の歳出で、物価高騰対策割引券の事業が行われます。この事業は昨年10月から利用が始まっていた割引チケットについて、追加配布(割引チケット冊子1冊・500円割引券5枚)するものです。合わせて利用期間も1月31日から3月31日に延長されました。

## 2 物価高騰対策・各種事業所への支援の取組(第4回定例会で可決)

物価高騰対策の一環として、介護サービス事業所等、医療施設等、民間保育所等、障害福祉サービス事業所、障害児福祉サービス事業所の5つの分野に関する事業所等へ物価高騰対策として支援が行われることが決定しました。

## 3 中学校給食予約システム運用等委託事業(第4回定例会で可決)

債務負担行為として、令和6年度から令和8年度12月分までの限度額約2千9百万円が可決されました。現在の予約システムを更新し、大盛りが予約できるようになります。また令和8年度12月分としているのは、令和9年から中学校給食の全員喫食を予定しているからです。現在、市は全員喫食に向けての給食センターの建設に向けた取り組みを進めています。



嶋野浩一郎

会派幹事長  
総務建設常任委員会



光好博幸

民生常任委員会副委員長  
議会運営委員会副委員長  
議会だより委員会委員長



松本暁彦

副議長  
文教上下水道常任委員会

### 議会での取り組み

## 嶋野浩一郎

自民党・市民の会 幹事長  
6期目(議長2期歴任) / 総務建設常任委員会

住所 摂津市新在家1-8-7-301 電話 06-6340-5609

HP <https://ja-jp.facebook.com/koichiro.shimano>



### 一般質問で取り上げた内容の抜粋

## 1. 带状疱疹 ワクチン接種について



### 背景

抗ウイルス薬の登場により、带状疱疹の治療は容易になったが、それでも治療が長引くケースや、治癒後にも長期間に亘り神経痛が残るケースが少なからず見受けられる。後遺症として神経痛などの症状が残ると、日常生活に支障をきたすことになる。そこで带状疱疹ワクチンの接種に対し、市として助成制度を構築し、ワクチン接種を促進する方向性について、議会にて質問。

### 質問

带状疱疹発症の合併症である**神経痛の抑制にはワクチン接種が有効**であるが、**市独自の助成策**は構築できないか？

### 答弁

带状疱疹後神経痛は痛みが数か月から数年に亘ることや、症例の10~50%の割合で生じることが国のワクチン評価小委員会で報告されている。**定期接種化に向け大阪府市長会を通じて要望**を行っているが、引き続き国の動向を注視し、**必要な要望を継続**していく。

## 2. 中学生の 学力向上について



### 背景

これまで小中学生の学力向上は我が市の大きな課題であったが、学校現場や関係者の弛まぬ努力により、小学生の学力は右肩上がりに上昇しており、全国平均値にほぼ達している。一方で中学生の学力はここ数年横ばい傾向を辿っている。中学生の学力向上は自ら志を明確にすることにより、学習意欲を沸き立たせることが不可欠と考え、議会にて質問。

### 質問

中学生の学力向上には、将来の夢や目標を明確にすることが学ぶ意欲の向上の源泉となると考えるが、**立志教育の実施**について伺う。

### 答弁

将来を見据え、夢や目標を持つことが学習意欲につながると捉えており、子供たちの夢や目標を育むため、キャリア教育の充実を図ってきた。キャリア教育等を通じ、大人が社会に貢献していることに触れる機会を設け、ロールモデルとなる大人に憧れや尊敬の思いを持ち、自分自身が将来どのような大人になりたいのか、**志を育めるように学校の取り組みを支援**していく。

## 3. 消防行政の 広域化について



### 背景

消防指令業務を吹田市と共同運用した効果として、より高度な指令システムの導入が実現され、結果として迅速な対応が可能になっている。指令業務の広域化を契機としてより広域化を進めることが効率化・迅速化につながると考え、議会にて質問。

### 質問

指令業務の広域化に留まることなく、例えば**梯子車などの特殊車両の共同運用**などは考えられないか？

### 答弁

広域的に連携できる手段の一つとして特殊車両の共同整備・運用があり、大阪府下でも広域運用が実現されている。今後は**吹田市と梯子車の広域運用の可能性**を探る為勉強会を開催していく。

## 議会での取り組み

# 光好ひろゆき

2期目 / 民生常任委員会

住所 摂津市烏飼西2-18-14-6 電話 072-665-5608

HP <https://www.mitsuyoshi-hiroyuki.com>



## 一般質問で特に取り上げた内容(概要)

# 1. ドローンの有効活用について



**質問** 令和5年5月に「災害時におけるドローンによる支援活動に関する協定」を締結された。有事に備え、ドローン事業者と共に、平時における実践的な訓練を展開する必要があると考えるが、見解を問う。

**市の答弁** 災害時に円滑に応急対策業務を実施する為には、**平常時からの訓練が非常に重要**であると認識している。**関係機関との顔の見える関係性を構築**しながら具体的な訓練内容を検討して参る。

**要望** 危機管理の観点から、**防災協定締結の必要性**に関しては、提言して来た経緯があり、協定を締結されたことは高く評価する。これから、**実践的な訓練に繋げると共に、平時における事業者との関係作り**を要望。

# 2. 摂津ブランドの更なる構築について



**質問** 令和5年度は「摂津優技」に2社が認定された。**BtoB**という観点で、企業の**匠の技にもスポットを当てるべき**と私の方でも提言して来た経緯があり、この取り組みを高く評価する。改めて、「摂津優技」を認定した狙いと見込まれる効果について問う。

**市の答弁** 普段目にすることがない匠の技術を持つ企業を応援する為、「摂津優技」を創設した。効果としては、これまで市との接点が少ない**他市に誇れる技術を持つ企業について、実態を把握**することが出来た。

**要望** 摂津ブランドも含めた本市に秘めているポテンシャルを市内外に広く知ってもらい、ビジネスマッチングに繋げる等、**新たな可能性を見出すべき**である。**より一層本市の魅力を発信**することを要望。



## 議会での取り組み

# 松本あきひこ

2期目 / 文教上下水道常任委員会

住所 摂津市別府1-4-6-505 電話 06-6349-2515

HP <https://www.matsumotoaki.com/>



## 一般質問で特に取り上げた内容(概要)

# 1. 新型コロナワクチンの健康被害に関する市の対応について

(第3回定例会一般質問)

**背景** 令和5年9月20日から「令和5年秋開始接種」による新型コロナワクチンXBB.1.5の接種が開始された。ただ、269件の死亡認定(令和5年9月22日時点)も出るなど**新型コロナワクチン接種による健康被害が極めて異例な数**であり、デメリットしかないと思われる状況である。それにも関わらず接種を続ける現状に対して、市として市民の命と健康を守るためにどうすべきか質疑を行った。

**質問** 新型コロナワクチンに関する予防接種健康被害救済制度での**健康被害の状況**について、**最新の審議結果**の内容も合わせて問う。

**市の答弁** 新型コロナワクチン接種に係るものは、9月22日時点で全国の自治体から国に8,929件の進達がなされ、国の専門審査会において審査されたもののうち、**認定が4,350件**、否認が605件という結果になっている。また直近の審査部会においては79件が審議され、認定が74件、否認が3件、保留が2件で、認定のうち請求内容別では**死亡一時金等が50件**、医療費等や障害年金が24件となっている。

**質問** 新型コロナワクチンの健康被害者は、**薬害エイズ被害者1,400人以上**、**MMRワクチン接種による無菌性髄膜炎被害者1,800人**といった**薬害**の被害者を上回る数字であり、極めて異例な数字といえる。改めて市の救済制度申請件数の現状と、また救済制度の利用促進の為、**健康被害の状況を把握するために調査を行う必要がある**と考えるが、市の見解を問う。

**市の答弁** 令和3年に新型コロナワクチン接種が開始されて以降、現在までの間、**市における救済制度申請件数は5件**である。**市が新型コロナワクチンについての健康被害調査を独自に行う予定はない**が、引き続き国において公表される専門家による評価等を注視する。

# 3. 地域コミュニティの活性化について



**質問** 現在、「**地域コミュニティの活性化に向けた条例制定**」に向け取り組まれているが、この進め方では市民の**意見が反映されるのか危惧**している。素案完成後ではなく、**作成段階において広く意見を求めるべき**と考えるが、見解を問う。

**市の答弁** やはり「**たたき台**」を提示する必要があると考える為、条例素案を作成してからご意見をお聞きしたい。**修正も可能**であり、有用なご意見を頂ければ、条例素案に反映させて参る。

**要望** まちづくりの観点からも、重要な条例となる。**地域団体等とシッカリと議論し、意見を反映**するよう、要望。

# 4. 災害対策の充実・強化について



**質問** 自治会独自の**地域版防災マップ**は相当な労力を掛けて作成された。しかしながら、作成された当初と現在では、**水害リスクの前提が変わっている為、被害想定にあった内容に見直すべき**と考えるが、見解を問う。

**市の答弁** 既存の地域版防災マップは、**広域避難を前提**として見直していく必要がある為、今後、地域と連携しながら**地域版防災マップを順次、更新・作成**して参る。

**要望** 鳥飼北小学校校区では、**地域での広域避難の取り組み**について、検討が開始されたとお聞きしている。是非、**市全域に反映**するよう、要望。

# 5. 鳥飼地域のまちづくりについて



**質問** 鳥飼まちづくりにおける来年度以降の**スケジュールが明確になっていない**。到達点を定め、そこから逆算して**5W1Hの視点で推進すべき**と考えるが、見解を問う。

**市の答弁** 説明会でエリアの将来予想の共有が出来たところから、順次ワークショップを開催し、個別具体の対策について議論させて頂き、**3~4年を目標に、具体的な取り組みを住民の皆様と一緒に実施したい**と考えている。

**要望** **具現化される事案とまちづくり全体を紐付け**し、スケジュールングすべきである。特に**河川敷の活用**に関しては、**具体的な絵を描く必要**があり、市民の声を具現化すべく**国への強い働き掛け**を要望。

**質問** **救済制度始まって最多の死亡認定、最大の健康被害を起こしているワクチン接種**は、安全性を追求すべき段階で、もはや重症化リスクの低い若い世代だけでなく高齢世代についても、**デメリットしかない**と考える。健康被害にあわれた方、ご遺族の方の苦しみ、悲しみがインターネットでも一部報道でもあふれている。国の対応はおかしいと言わざるを得ない。市としても、国の救済制度があるからそれと十分というものでなく、現在、そして将来において大きな禍根を残すものと認識し、**真摯に市民に寄り添い対応すべき**だが、市長の見解を問う。

**市長の答弁** このワクチン接種については、国の受託事業で、今後も色んな影響があるにせよ、市民の皆さんには通知をしていかななくてはならない。ただ、その時に**非常に深刻な健康被害が出ている**ことを、丁寧にお知らせを同時にしていく、これは大切な事ではないかと思っている。今後もワクチンはまだ続いていくと思うが、いずれにしても、**将来に禍根を残すことの無いように、市としてどういう形で可能なかどうか研究していく必要**があるかと思う。

## 新型コロナワクチンの健康被害審査の最新状況

厚労省予防接種健康被害審査部会  
2023年12月27日時点

これまでの進達受理件数	認定件数(死亡420件含む)	否認件数
9,789件	5,735件	952件

# 2. 児童虐待防止の取組みの進捗について



**質疑概要** 私は児童虐待防止の取組みを進めるために**児童虐待防止に関わる条例制定**を提言している。市は提言を受けて、**条例制定に向けて作業を進めている**。

第3回定例会にて、児童虐待防止の条例としてどうあるべきか、市民をどう巻き込むかなど、条例制定の進捗について質疑を行った。市は令和5年度末の制定を目指すとともに、その内容等に関して、**虐待の背景**には、子育てに対する不安や地域のつながりの希薄化等が考えられるので、子育て支援団体や関係機関等とも連携を図りながら、身近なところで子育て相談等ができる環境づくりにも取り組むなど、条例制定の意義でもある、**オール摂津で虐待防止に取り組む機運の醸成に努める**等と答弁した。